

# 医学生のうちから始めよう、エコーレポート作成 @しまね総合診療医センター

(Ultrasound report writing, start in medical student:  
Trained by Shimane General Medicine Center)

花田 拓真<sup>1</sup>, 遠藤 健史<sup>2</sup>, 山口 柊<sup>1</sup>, 山中 由芽<sup>1</sup>, 宮田 菜穂<sup>1</sup>,  
吉岡 菜穂<sup>1</sup>, 坂口 公太<sup>2</sup>, 樋口 大<sup>2</sup>, 和足 孝之<sup>1</sup>, 白石 吉彦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>島根大学, 医学部医学科, <sup>2</sup>島根大学医学部附属病院, 総合診療医センター



JPCA2023. 2023年5月13日 (土) 発表

## エコー教育の問題点と解決策

### エコー教育

- ・ 教員→学生
- ・ 教員→チューター→学生の指導法がメジャー

問題点：指導者(教員)の不足

<解決策>

- [1]外部からの指導者動員
- [2]指導を受けた学生が後進を育てる

## 島根大学での取り組み

教育すると同時に、将来の指導者を育成！

### ①高度総診コース

- ・ 時間外の医学部正課授業（試験あり）
- ・ 高学年コース、低学年コースそれぞれ10名
- ・ ハンズオン主体で2h/回を10回
- ・ 指導者は総合診療医、検査技師、看護師
- ・ heart works<sup>®</sup>、body works<sup>®</sup>を使用

### ②速習コース

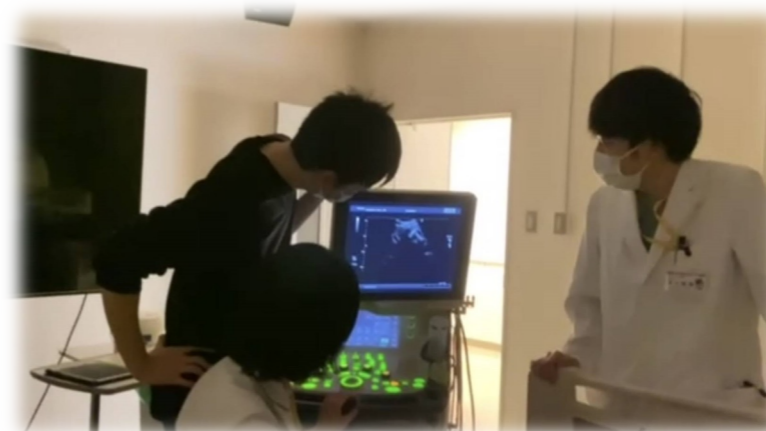
- ・ 非正規活動（試験なし）
- ・ 高度総診コースの抽選に漏れた10名
- ・ ハンズオン主体で1.5h/回を6回
- ・ 総合診療医1名、訓練を受けた5年生4名
- ・ heart works<sup>®</sup>、body works<sup>®</sup>を使用

### <①②の共通目標>

### 心臓・腹部エコーレポート(\*)の作成

### <①の評価方法>

- ・ 臓器描出試験
- ・ エコー画像判読テスト (合計100点として評価)



腹部エコー-医学生レポート: Shimane University

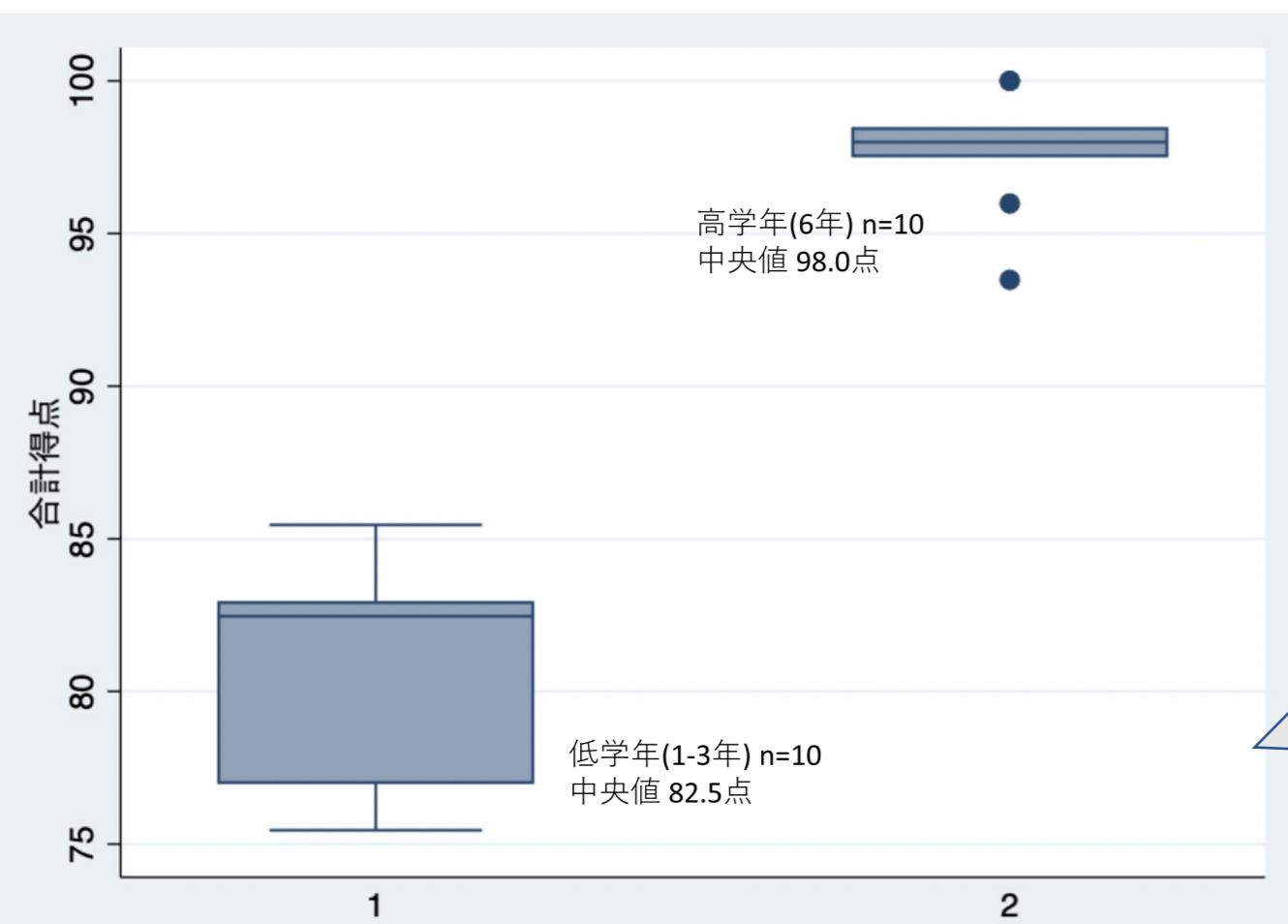
肝臓: 左縁 sharp  dull  
表面 平滑 不整  
内部 均一 不均一  
肝腎コントラスト なし あり  
肝表面の腫瘍 なし あり  
SOL: なし あり 性状 ( )  
胆嚢: SOL なし あり 性状 ( )  
総胆管: 拡張 なし あり  
脾臓: 主脾管拡張 なし あり  
SOL: なし あり 性状 ( )  
腎臓: 腎盂 拡張なし 拡張あり  
モリソン窩の腫水 なし あり  
SOL: なし あり  
膀胱: 最大径 mm  
大動脈: 大動脈瘤 なし あり  
大動脈解離 なし あり

身長	cm	体重	kg	BSA	HR	リズム	SP
measurement	mm	E	mm	cm/s	TR	mmHg	
LV Dd	mm	A	cm/s	TR	PG	mmHg	
LV Ds	mm	A	cm/s	TR	PG	mmHg	
EF(Fick法)	%	DiT	mmHg		AY		
IVSth	mm	MR			LVOT val	m/s	
PWth	mm				PG max	mmHg	
AO	mm				DR		
LAD	mm						
IVC insp	mm						
exp	mm						

1. Normal 2. Hypokinesis 3. Severe hypokinesis 4. Akinesis 5. Anocycum

\*心臓・腹部エコーレポート

## 臓器描出試験+エコー画像判読テストの合計点数



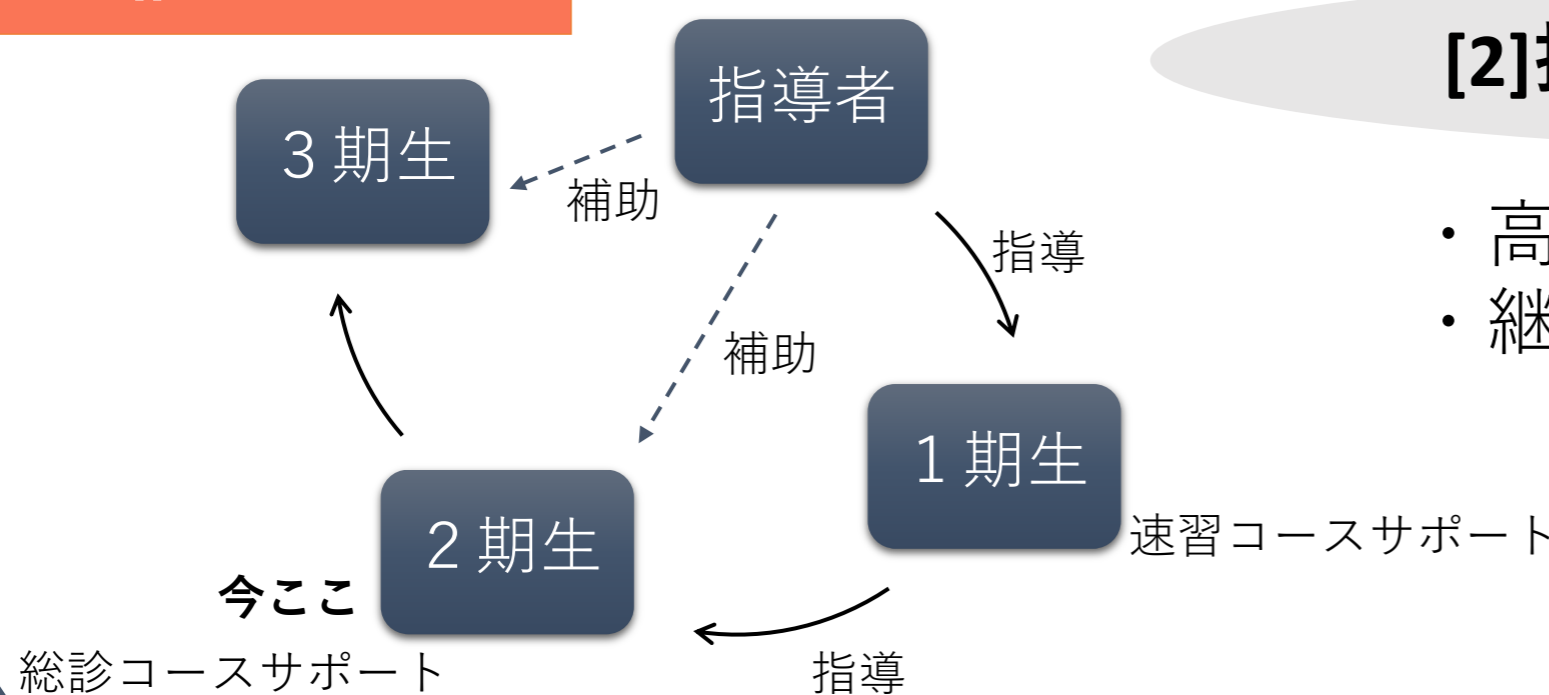
### <結果>

- ・ 高学年は低学年に対し、有意に点が高かった (Wilcoxon rank sum test:  $p < 0.01$ )

### <考察>

- ・ 学年による医学的習熟度の差
- ・ 低学年はシミュレーションセンターの利用ができなかった
- ⇒ 自主練習回数が点数差に影響

## 島大のエコー教育構想



### [2]指導を受けた学生が後進を育てる

- ・ 高度総診コース、速習コースの生徒が指導者に
- ・ 継続的にコースをサポートするエコー部の設立

### Near Peer Teaching<sup>1)</sup>

- { 学習効率上昇
- { 指導者不足の解決<sup>2)</sup>

## 今後の予定

1. 2023年5月 高度総診コースアシスタント (1期生)
2. 2023年7月 第15回JPOCUS 学生セッション 全国エコー対抗戦参加 (1期生)
3. 2023年9月 2期生への引継ぎ

JPOCUS: 日本ポイントオブケア超音波学術集会

## 参考文献

筆頭演者、共同演者において、開示すべき利益相反(COI)はありません。

1) Benè KL, Bergus G. When learners become teachers: a review of peer teaching in medical student education. *Fam Med*. 2014;46(10):783-787.  
2) Dietrich CF, Hoffmann B, Abramowicz J, et al. Medical Student Ultrasound Education: A WFUMB Position Paper, Part I. *Ultrasound Med Biol*. 2019;45(2):271-281.